

豊かな時間を送ることができた喜び

レポート：竹村恵子

★はじめに

夏代さん・中能さん、そしてデンマークで出会った方々ありがとうございました。

デンマークの情勢を学び、人の人生を支える支援に触れる機会を作っていただきました。また、私自身言葉の通じないところで、食事内容も変わる生活を送ることで、何かしら「発達障害を持つ人たちは、日々もしかしたらこんな風であろう」体験を直に感じた1週間でありました。そしてICFでの概念を体験してきました。その社会に居るもの全てが、その人の存在そのものの尊厳をどのように守るかは、社会の役目であり、関わるものの在り方次第でもあります。私の「その場の不安」という感情は、デンマークの温かい環境に守られ中身の濃い時間を送ることができました。

★どんな人物を育てたい？

「日本という国に守られていると実感していますか？」の問いかけに自信を持って「はい」といえるだろうか。「日本国を愛していますとは言えるけど」と苦笑いをしながら話す私たちでした。

デンマークは国がしっかりした方針を打ち出し、その方針を全国民が理解し、その方針に基づきそれぞれの時期に関わるものは自分たちのできること、すべきことを明確にしていました。確固たる方針がしっかりしていることは強いとつくづく感じました。デンマークは、国のビジョンとして、保育～教育～就業～老後と一貫した考えがあります。そして誕生の祝いに「民主主義」を国から受け取ります。日本は、どんな人物を育てたいのでしょうか。

国のビジョンが見えにくいからという言いわけでなく、私たちは、自分たちの置かれ



ている立場からそれぞれの理念をどう捉えどのようにあるべきかを考え、自分たちの役割をどのように打ち出すかをはっきりさせなければならないといけないと痛感しました。

★私の立場を見つめなおして

今の保育園の課題として、今までデンマークでの研修を受け、『見守る』保育を取り組んでいこうというビジョンを打ち出していますが、どこまで職員一人ひとりが理解し、ベクトルを共に向いて自分たちの使命を感じているかが課題です。

今後は、私たちが学んだものをどのように考え、保育園として何を大事にしていくかを確立し、方向性を示していきたいと考えています。保育園の理念と方針を理解し、考えて保育ができる体制をとっていくために仕掛けを作るよう努力していきたいと思います。

『愛されて育った子は、人を愛する大人となる。社会に愛されれば、その子は社会の大事な人材となる。』という言葉の根底にあるものを、この研修でどの場においても出会った方々から感じることができました。

この研修で巡り合った全ての皆さんに感謝します。ありがとうございました。豊かな時間を送ることができた喜びと、これからの私自身「生きる力」や「やりがい」をいただくことができたことに、感謝！感謝です。